

2007年度中間決算説明会



株式会社 **千葉銀行**

2007年12月4日

目次

はじめに	2
------	---

第1章 中間決算の概要

決算概要 P/L	4
決算概要 B/S	5
決算概要 連結	6
2008年3月期業績予想	7

第2章 主要項目の実績

収益増加実績	9
貸出金増加実績	10
住宅ローン	11
預貸金利鞘	12
有価証券運用	13
役務取引等利益	14
金融商品販売	15
経費	16
信用コスト・不良債権	17

第3章 営業基盤の拡充に向けた取組み

営業エリアの拡大	19
団塊世代への取組み	20
コンサルティング機能の強化	21
ビジネスマッチングへの取組み	22
戦略的提携	23

第4章 経営管理態勢の強化・地域社会発展への貢献に向けた取組み

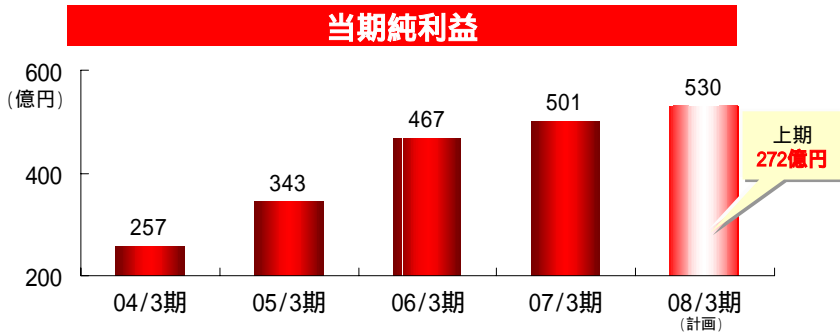
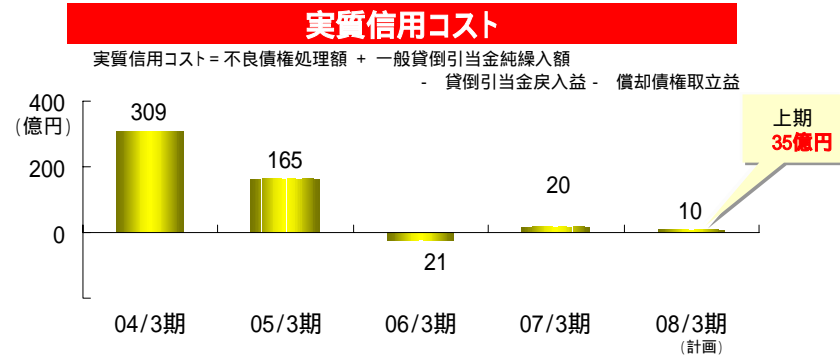
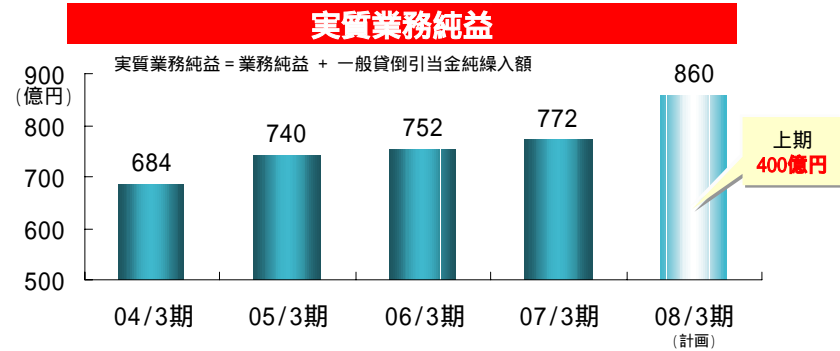
リスク管理態勢の強化	25
資本政策	26
地域社会発展への貢献	27

はじめに

2007年9月期は資金利益を中心としたトップラインの増加を反映し、実質業務純益が400億円(前年同期比+12億円 3.2%増)と過去最高となりました。

また実質信用コストが、貸倒引当金の戻入の発生を要因として、35億円の戻り益となったことから、中間純利益についても272億円と最高益を更新しました。

本日は当中間期の決算の概要、主要項目の実績の説明の後、中期経営計画「地域とともに歩む 信頼と成長の100週間」に基づいた今後の当行の経営戦略について説明いたします。



中間決算の概要

決算概要 P/L

◆実質業務純益、経常利益、中間純利益で過去最高

<億円>	06/9期	07/9期	増減額
業務粗利益	778	795	17
うち 資金利益	658	688	29
うち 役務取引等利益	104	100	4
うち 債券関係損益	21	21	0
経費	391	395	4
うち 人件費	184	189	4
うち 物件費	184	184	0
実質業務純益	387	400	12
コア業務純益	408	421	12
一般貸倒引当金純繰入額	-	-	-
業務純益	387	400	12
臨時損益	69	15	53
うち 不良債権処理額	91	56	34
うち 株式等関係損益	3	16	12
経常利益	318	384	65
特別損益	81	68	12
うち 貸倒引当金戻入益	65	64	0
うち 償却債権取立益	18	27	8
うち 役員退職慰労引当金繰入額	-	13	13
うち 睡眠預金払戻引当金繰入額	-	7	7
中間純利益	245	272	26

資金利益

<億円>	07/9期	
	増減	
資金利益	688	29
国内業務部門	673	28
うち 預貸金	597	40
貸出金利息	688	109
預金利息	90	68
うち 有価証券利息	83	9
国際業務部門	15	1

役務取引等利益

<億円>	07/9期	
	増減	
役務取引等利益	100	4
役務取引等収益	178	3
うち 投信+年金保険	61	7
役務取引等費用	78	7
うち 団信・保証料等	48	4

実質信用コスト

<億円>	07/9期	
	増減	
(一般貸倒引当金純繰入額)	49	21
不良債権発生内訳	41	55
債務者区分悪化	90	24
担保	8	8
回収等(含引当率低下)	57	39
信用コスト	7	34
償却債権取立益	27	8
実質信用コスト	35	43

決算概要 B / S

◆貸出金が順調に増加

<億円>	06/9末	07/3末	07/9末		
			06/9末比	07/3末比	
資産の部	98,441	96,917	97,777	664	859
うち 貸出金	63,720	64,075	65,576	+2.9%	1,501
うち 有価証券	26,805	24,150	22,583	4,221	1,566
負債の部	93,102	91,228	92,065	1,036	836
うち 預金	80,092	83,715	83,110	+3.7%	1.4%
純資産の部	5,339	5,688	5,711	372	23
金融再生法開示債権残高	2,156	2,023	1,859	296	163
不良債権比率	3.31%	3.08%	2.77%	0.54%	0.31%

<億円>	07/9末			
	06/9末比	07/3末比		
貸出金	65,576	1,855	1,501	
国内	65,317	1,846	1,546	
除く公共	60,360	+5.6%	3,249	+5.2%
事業者向け	38,586	1,964	1,182	
消費者ローン	21,774	1,285	373	
公共	4,957	1,402	9	
海外	258	9	45	

<億円>	07/9末		
	06/9末比	07/3末比	
有価証券	22,583	4,221	1,566
うち 国債	5,378	2,022	1,761
うち 株式	2,366	222	334
うち 社債等	9,814	520	338
うち 外貨建	5,024	1,455	190

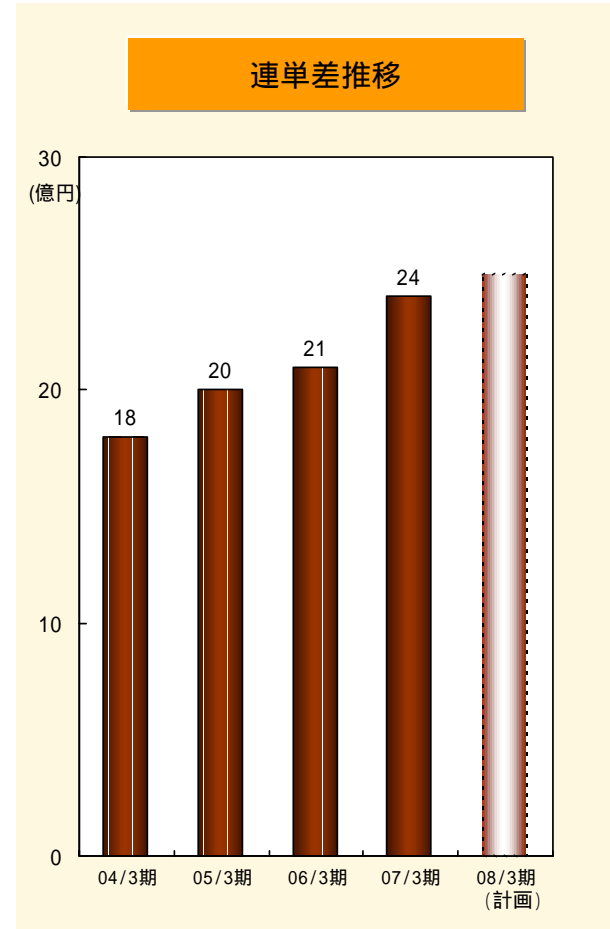
<億円>	07/9末			
	06/9末比	07/3末比		
預金	83,110	3,017	605	
うち 個人	62,249	+4.5%	2,735	+3.8%
うち 法人	15,065	385	316	
うち 公共	3,088	25	1,330	

決算概要 連結

◆グループ総合力の結集により収益力を強化

<億円>	連結		連単差額
	07/9期	単体	
経常収益	1,360	1,198	161
うち 貸出金利息	706	698	7
役務取引等収益	227	178	49
経常費用	923	814	109
経常利益	436	384	52
中間純利益	279	272	6

業務	社名	特長
証券	中央証券	千葉県内に12店舗を有し県内株式売買高シェアトップクラス 稼動口座数約54千口座
リース	ちばぎんリース	契約残高約502億円 リース業務強化により更なる収益拡大を指向
システム開発	ちばぎんコンピューターサービス	積極的に外販先を開拓してきた結果、地元自治体や地元企業などの外販比率は約8割
情報・調査コンサルティング	ちばぎん総合研究所	千葉県内における唯一のシンクタンク 県内有力企業を中心に会員数約5千先



2008年3月期 業績予想

◆トップラインが拡大し、引き続き最高益更新

<億円>	07/3期	07/9期	08/3期	07/3期比 増減額
	(実績)	(実績)	(計画)	
業務粗利益	1,551	795	1,660	109
経費	779	395	800	21
実質業務純益	772	400	860	88
経常利益	713	384	800	87
当期(中間)純利益	501	272	530	29
実質信用コスト	20	35	10	10
連結経常利益	819	436	900	81
連結当期(中間)純利益	525	279	555	30

連結経常利益、連結当期(中間)純利益以外は単体ベース

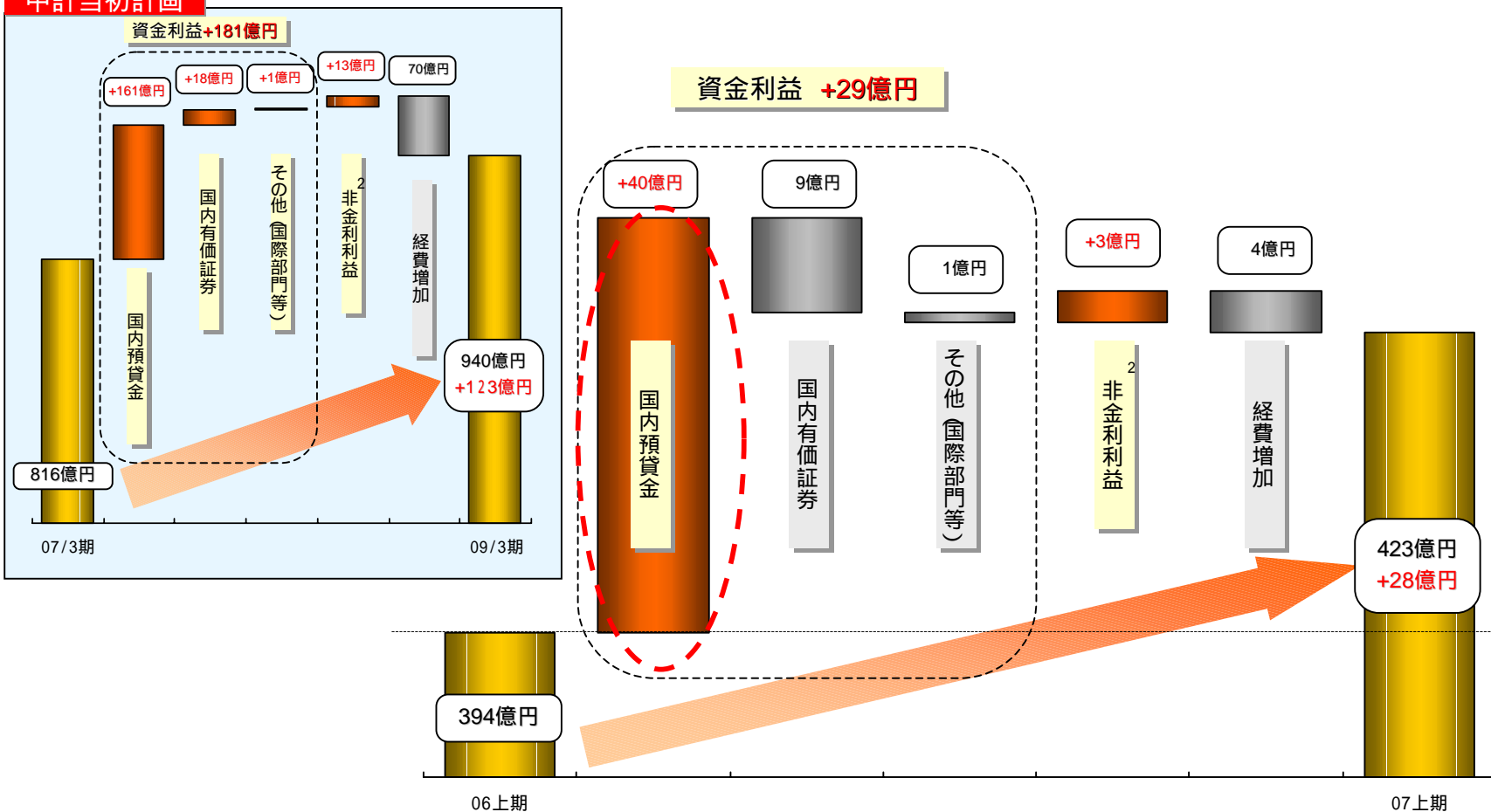
主要項目の実績

収益増加実績

◆ 預貸金資金利益を中心に収益増加

中計当初計画

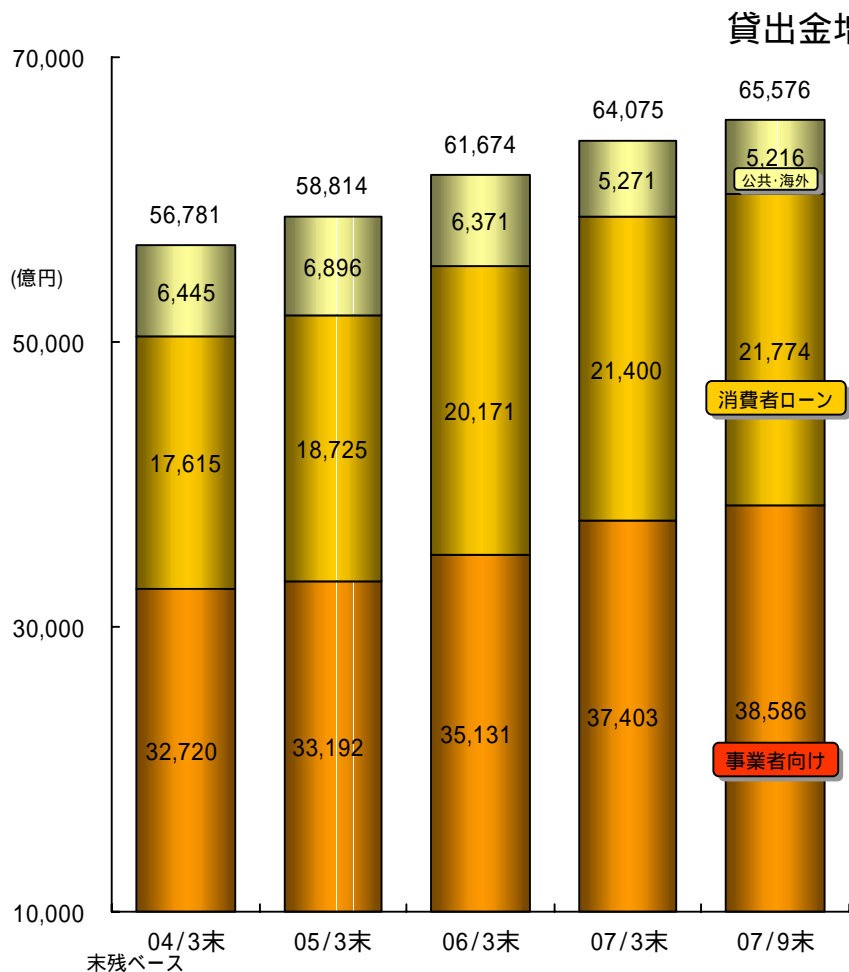
実質業務純益増加の内訳¹



1債券関係損益、金融派生商品損益を除くベースで表示
 2非金利利益 = 役務取引等利益+外為売買益+特定取引利益

貸出金増加実績

◆千葉県内に加え、東京都東部で貸出増加



	07上期実績	(年換算増加率)
貸出金	+1,501億円	(+4.6%)
千葉県内	+945億円	(+3.6%)
事業者向け貸出等	+582億円	(+3.8%)
消費者ローン	+362億円	(+3.4%)
東京都内 他	+555億円	(+8.4%)
東京都東部 ¹ (中小企業等)	+130億円	(+8.5%)
県外特別店等 ² (大企業等)	+425億円	(+8.4%)

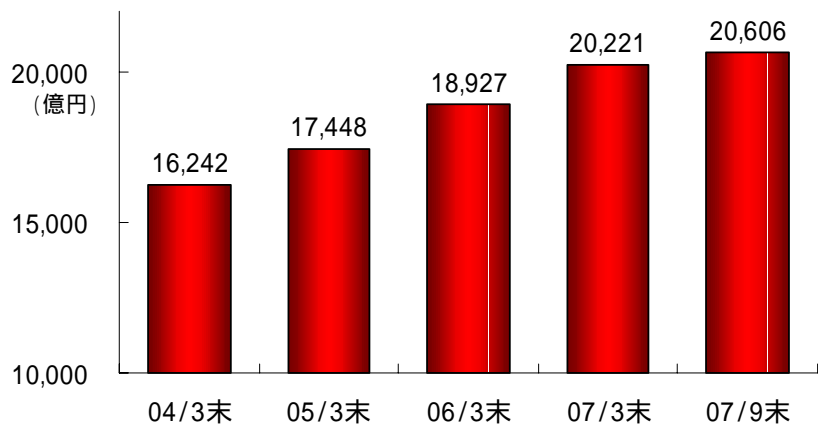
1.東京都東部の営業店10か店の残高

2.東京営業部・新宿・大阪、及び海外店の残高

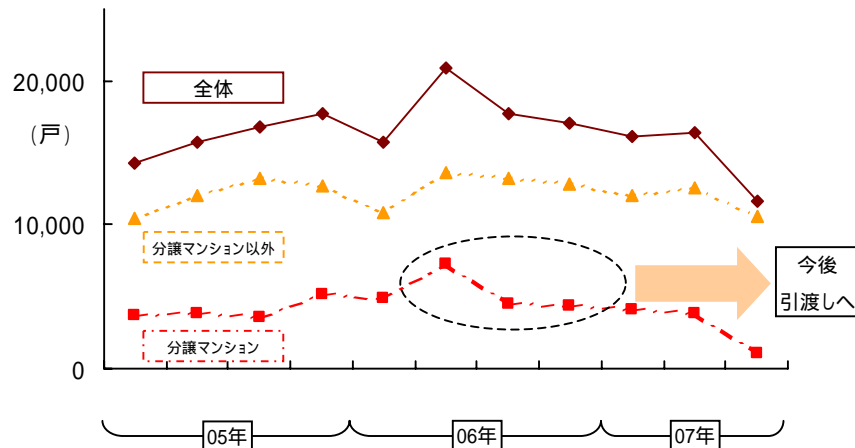
住宅ローン

◆市場の環境変化に合わせ、戦略的に経営資源を投入

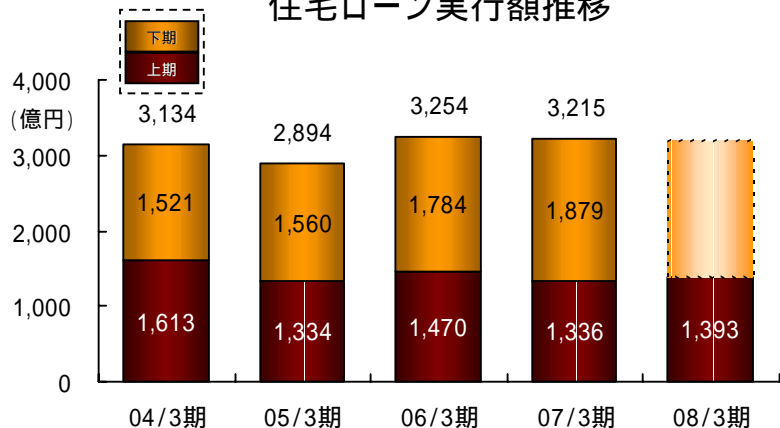
住宅ローン残高推移



千葉県内住宅着工戸数推移 (四半期毎)

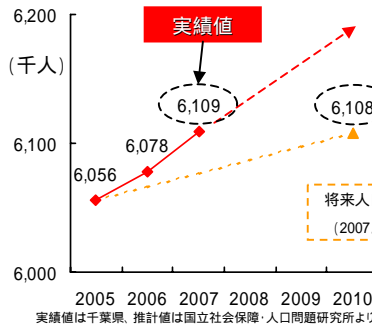


住宅ローン実行額推移



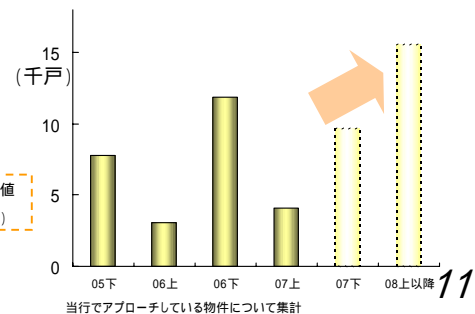
想定を上回る人口増加

人口増加状況



分譲マンション対応強化
稲毛ローンセンター設置

分譲マンション供給見込み



実績値は千葉県、推計値は国立社会保障・人口問題研究所より

当行でアプローチしている物件について集計

預貸金利鞘

◆ 利上げの見通しを変更し計画を再策定

07年上期円貨預貸金利鞘
(計画 - 実績対比)

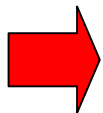
ほぼ当初想定どおりに推移

	貸出金 - 預金 (%)		
		貸出金	預金
当初計画	1.923	2.147	0.224
実績	1.914	2.141	0.227
差額	0.009	0.006	0.003

約定利回ベース

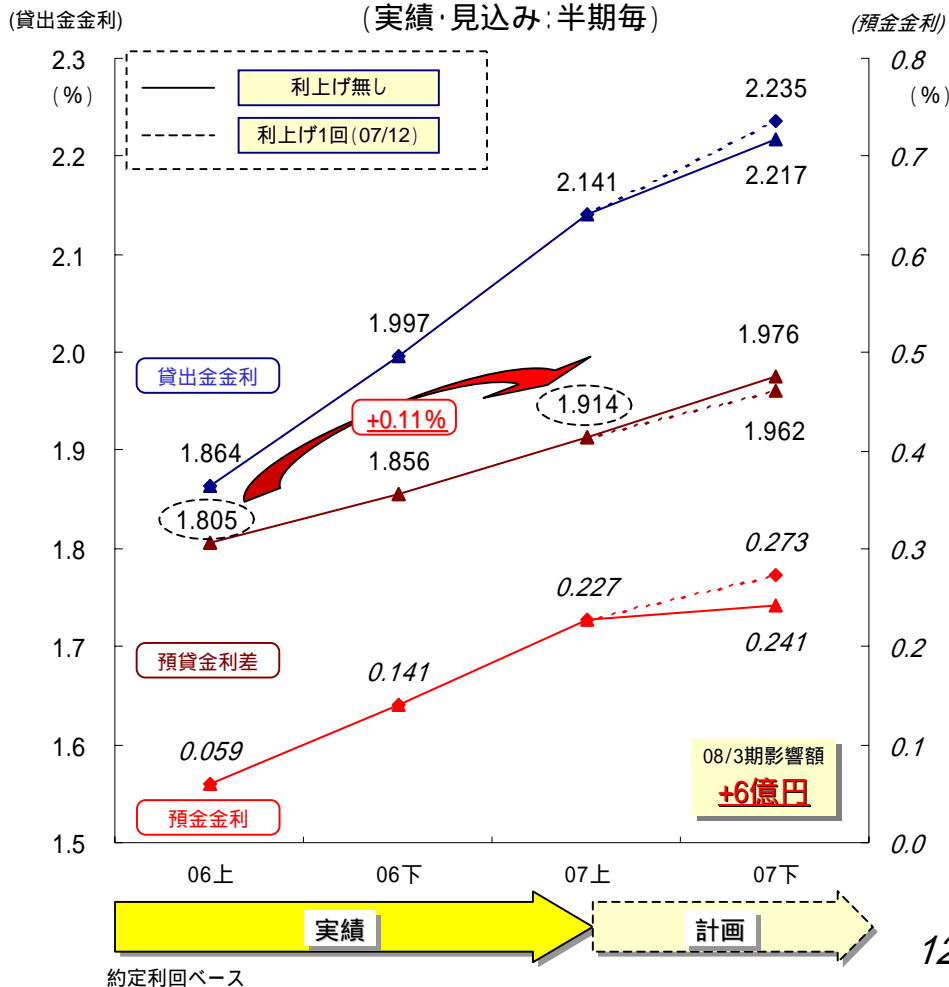
足元の経済環境を反映し
収益計画における利上げの見通しを修正

07/12に
0.25%の
利上げ



利上げ無し

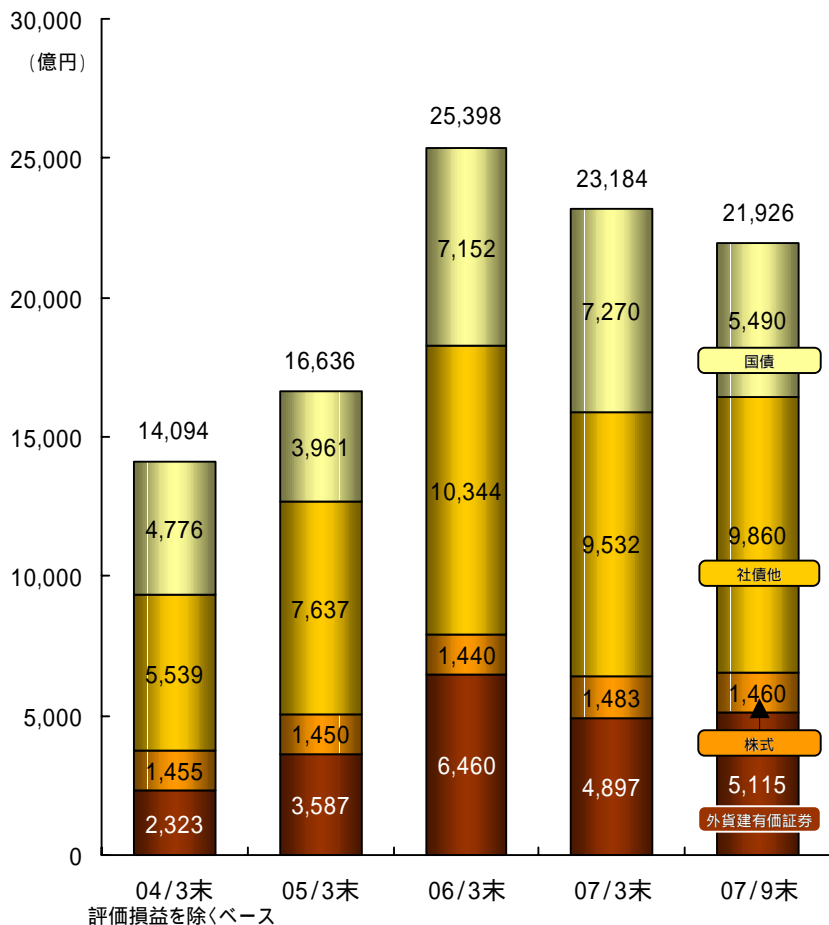
円貨預貸金金利推移
(実績・見込み: 半期毎)



有価証券運用

◆サブプライム問題の影響は限定的

有価証券未残推移



債券関係損益の内訳



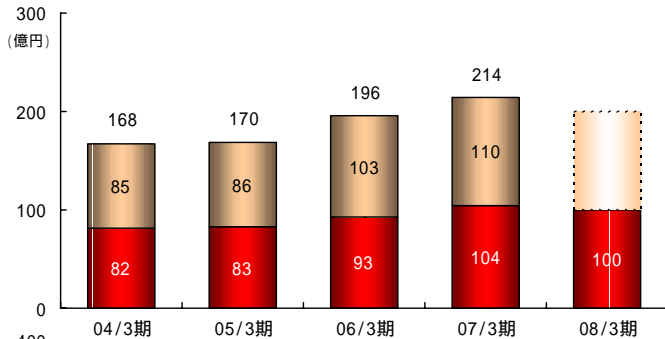
有価証券利回り(決算状況表ベース)

	06上期	07上期	(%)
			増減
全店	1.83	1.83	0.00
国内	0.96	0.95	0.01
うち債券のみ	0.64	0.77	0.12
円貨固定利付債平均残存期間	2.8年	2.7年	0.1年

役務取引等利益

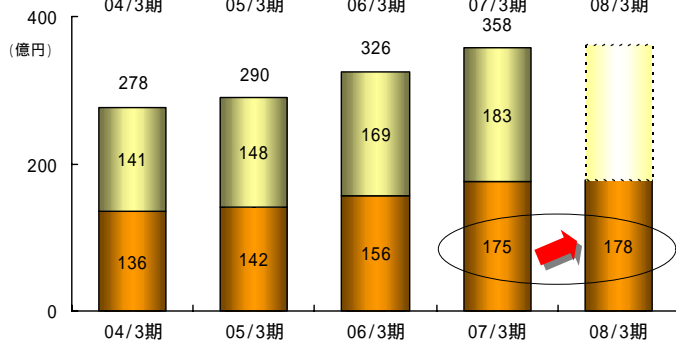
◆ 金融商品販売好調なるも、住宅ローンの残高増加等により役務取引等費用が増加

役務取引等利益



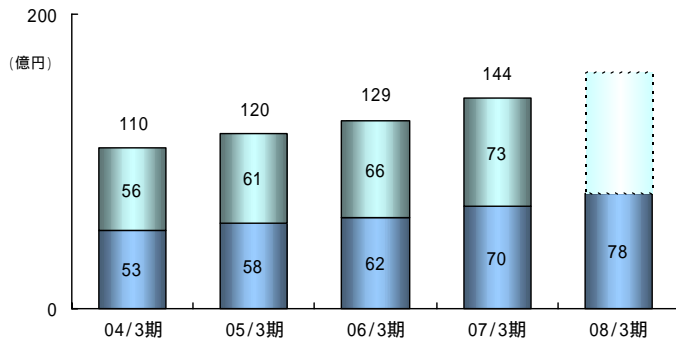
II

役務取引等収益



I

役務取引等費用

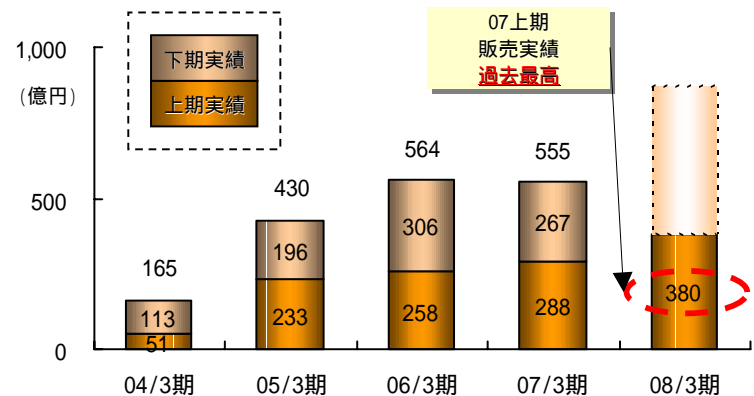


役務取引等収益増減要因

	06上		07上		増減
	06上	07上	06上	07上	
役務取引等収益	175	178	175	178	3
うち投信+年金保険等	53	61	53	61	7
投資信託	41	43	41	43	2
うち販売手数料	27	25	27	25	2
うち信託報酬	13	17	13	17	4
年金保険等	12	17	12	17	5
うち法人関連新業務	11	6	11	6	4

私募債、M&A、シンジケートローン関連、CLO

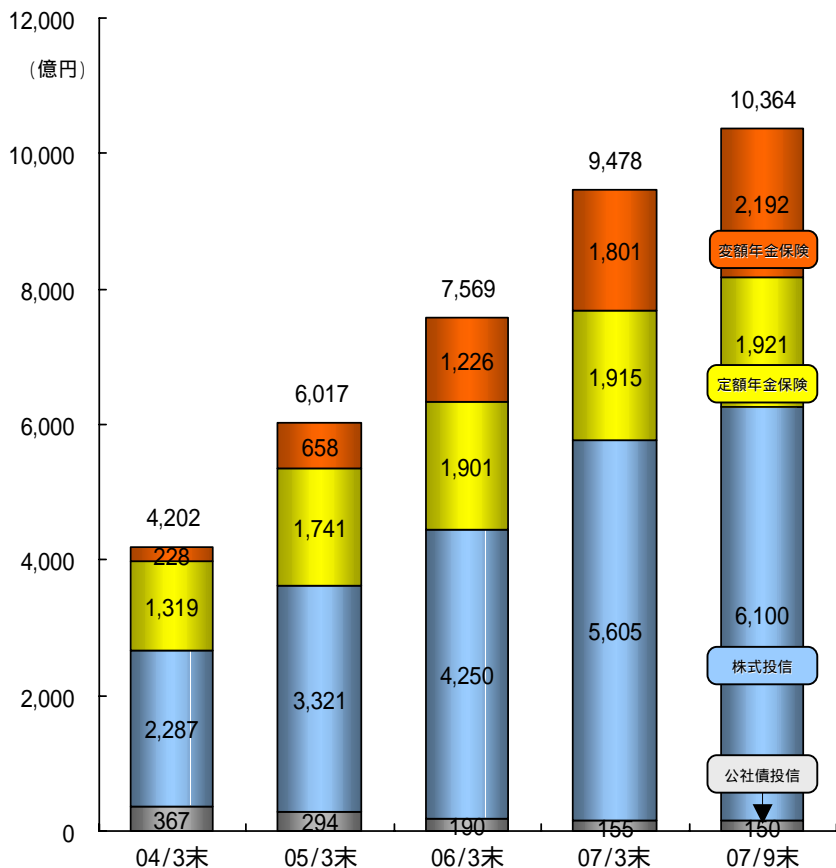
変額年金保険販売実績・計画



金融商品販売

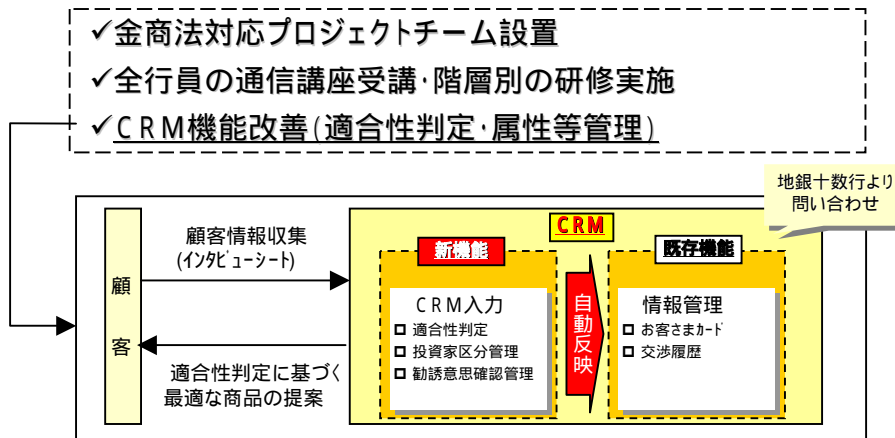
◆金融商品取引法の施行に対応し、販売態勢を再構築

投資信託残高・年金保険販売累計推移

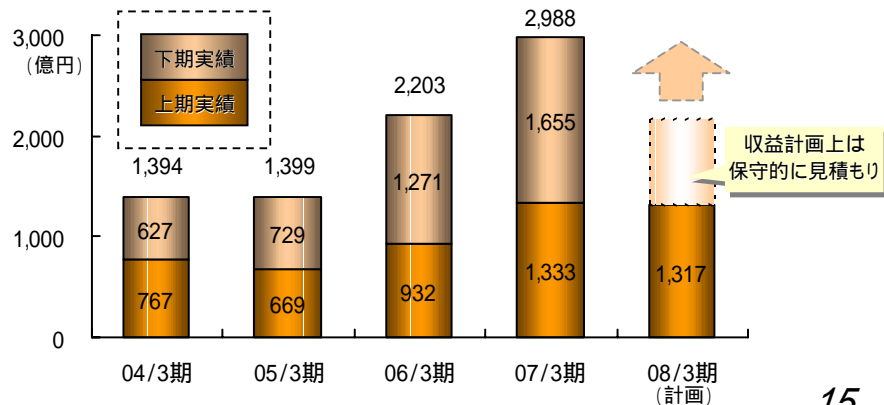


06/2より取扱を開始した一時払終身保険は変額年金に含む

金融商品取引法施行への対応

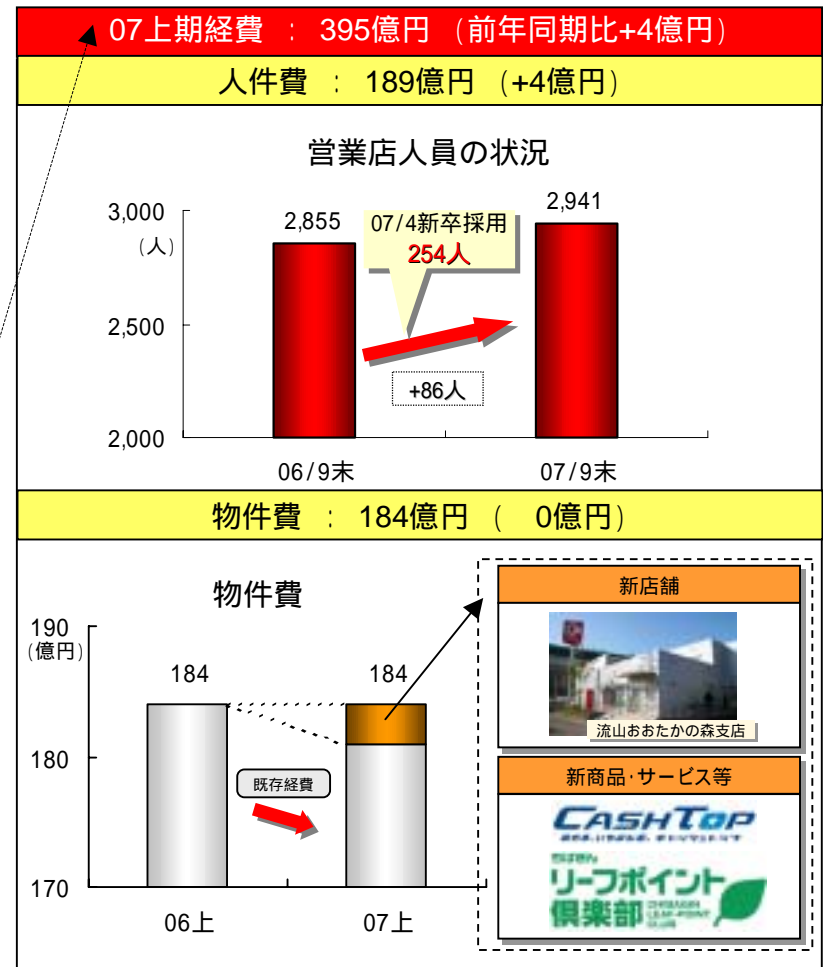
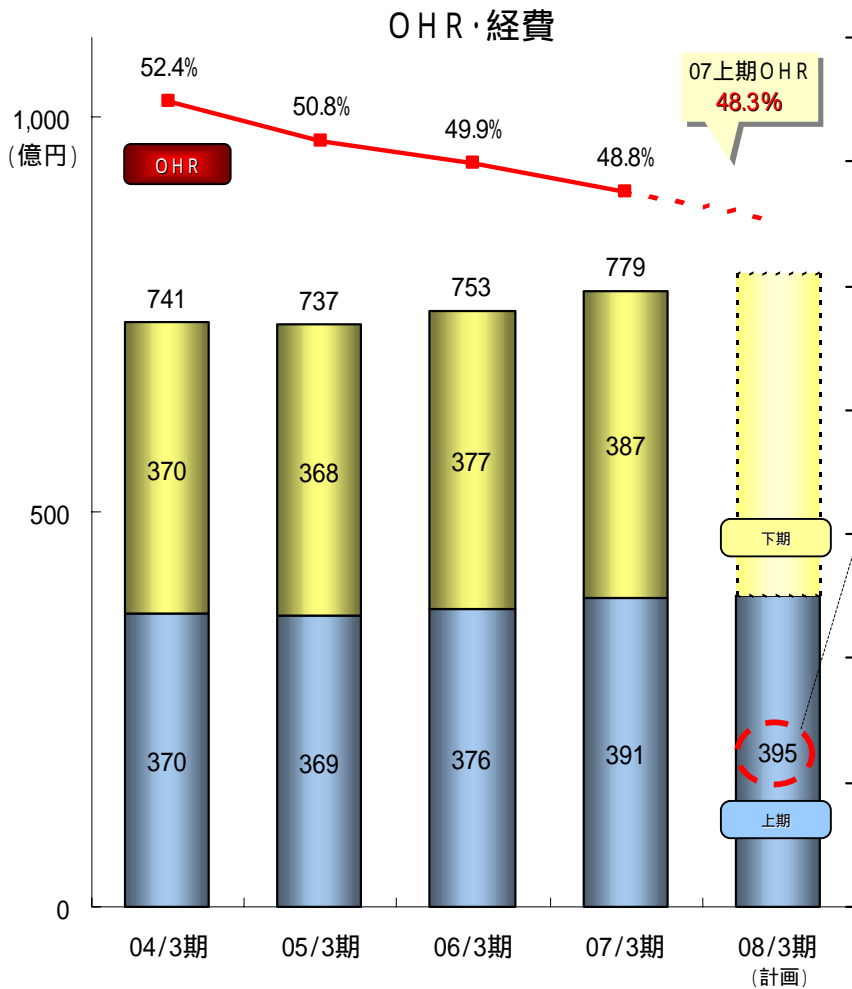


株式投信販売実績・計画



経費

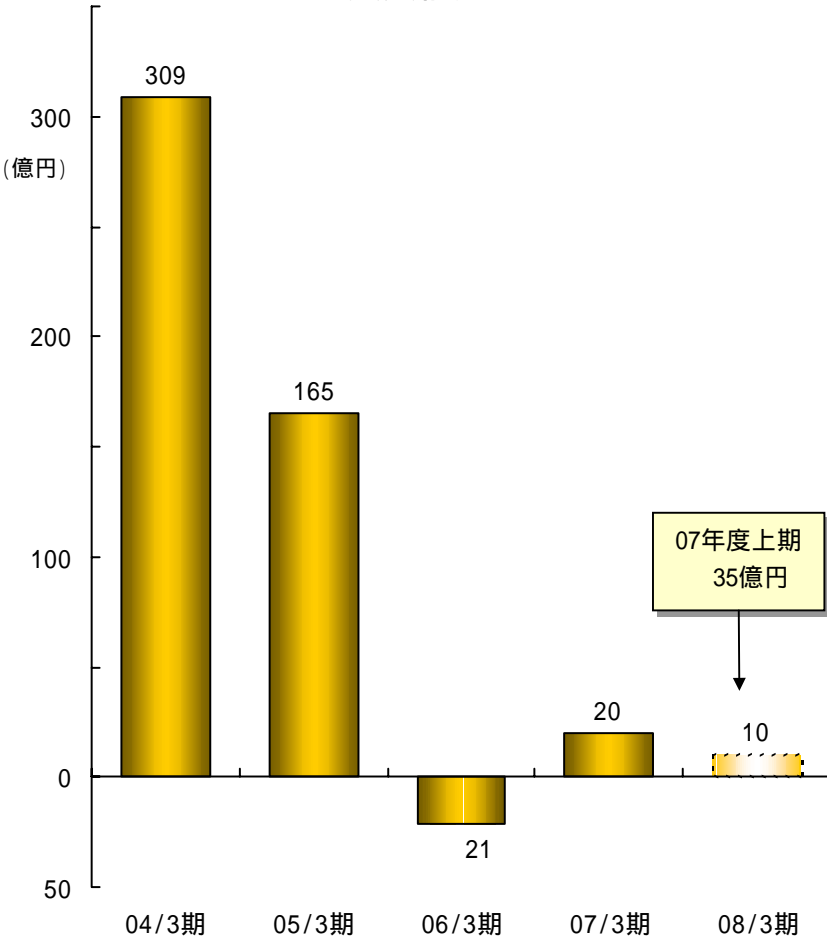
◆ 経費増加を最低限にコントロールし、高い効率性を維持



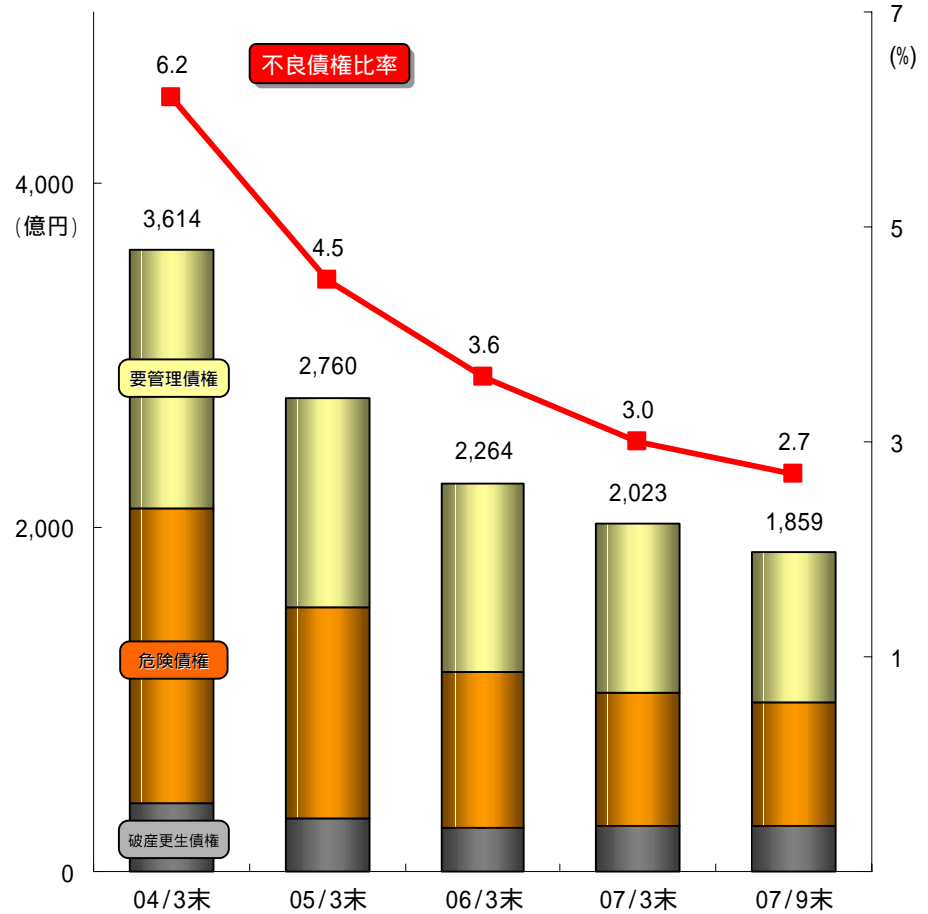
信用コスト・不良債権

◆信用コストは低水準で推移

実質信用コスト



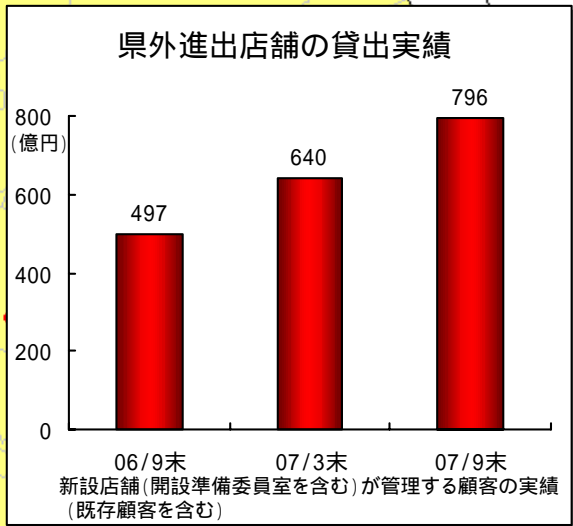
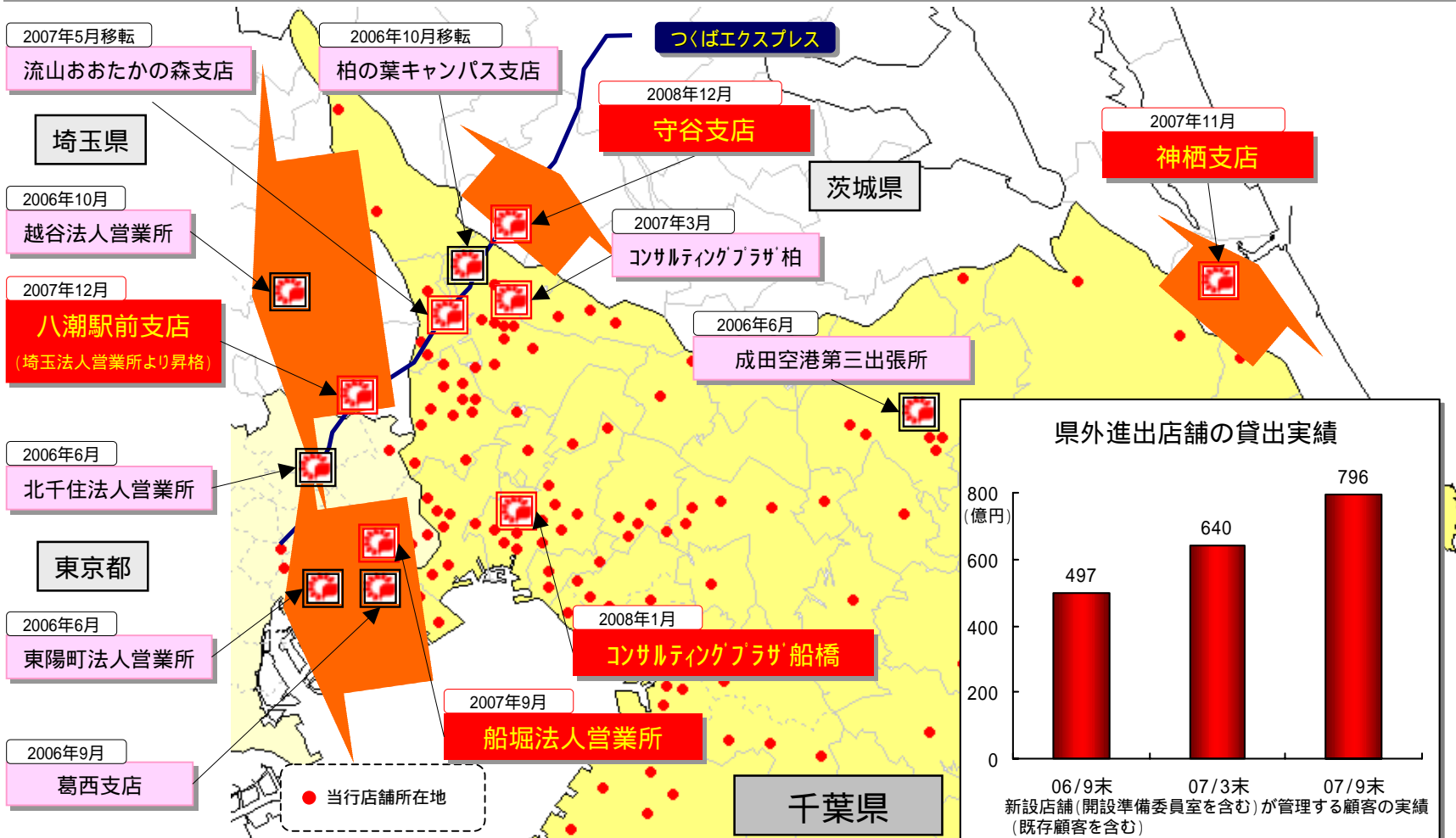
金融再生法開示債権残高・比率



営業基盤の拡充に向けた取組み

営業エリアの拡大

◆積極的な店舗戦略により営業基盤を着実に拡大



団塊世代への取組み

◆団塊世代の大量退職に積極的に対応

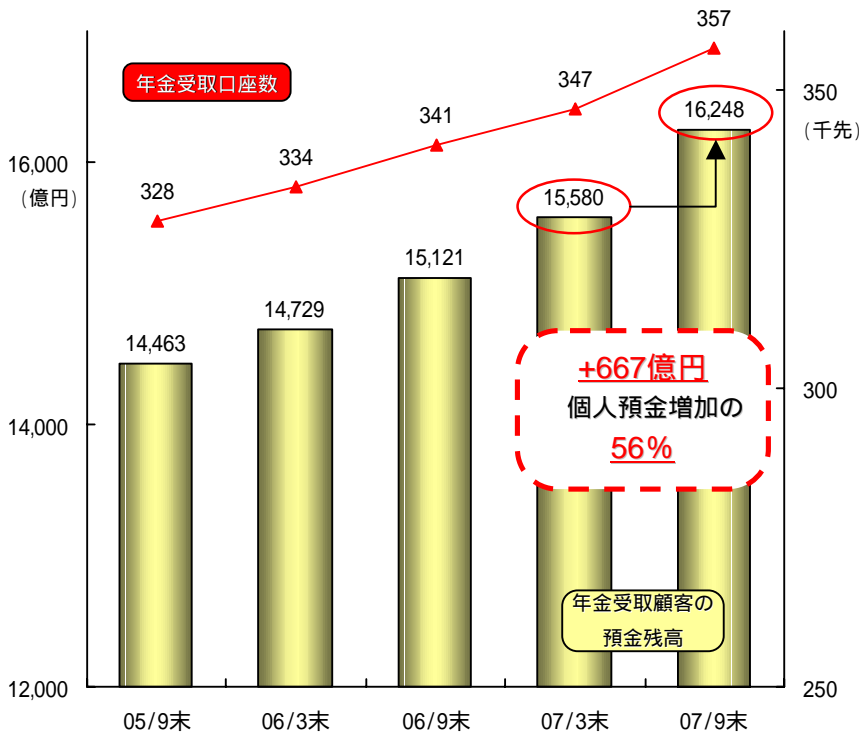
千葉県内退職一時金

04-06年度
1.7兆円

07-09年度
2.3兆円

ちばぎん総合研究所試算による

年金受取口座数・預金残高推移



団塊世代との取引強化に向けた取組み

ひまわり倶楽部

07/4~



- ✓ひまわり倶楽部「冊子配布
- ✓会員限定の特典提供(定期預金金利優遇・ギフトカード提供等)

+

07/6~

JR東日本とメリット相互提供開始

24万先

特別キャンペーン

06/10~

いきいきセカンドライフを応援
退職金運用プラン

- ✓定期預金金利の優遇
- ✓旅行券等懸賞の提供

獲得実績

06下
149億円

07上
432億円

定期預金・投資信託の合計

コンサルティング機能の強化

◆顧客ニーズへ積極的に対応するためコンサルティング機能を一層強化

コンサルティングプラザの拡充

2004年10月 ▶コンサルティングプラザ千葉開設

2007年3月 ▶コンサルティングプラザ柏開設



コンサルティングプラザ柏

2008年1月(予定) ▶コンサルティングプラザ船橋開設

富裕層取引の強化

プライベートバンキンググループ設置

- ✓ 信託・相続関連業務を切り口とした
富裕層向けのオーダーメイド型商品提案
- ✓ 財務・税務等の専門スキル提供

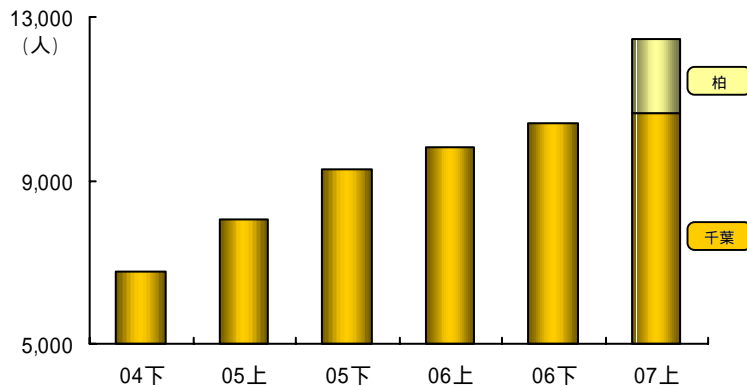
07/6~

信託・相続関連業務取扱店舗拡大

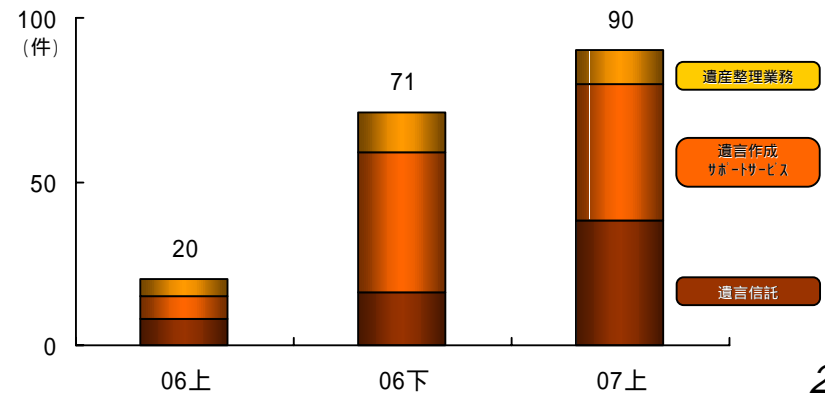
- ✓ ブロック幹事店を中心に取扱店を26店に拡大
- ✓ 担当者による一次セールス実施

07/6~

コンサルティングプラザ来店客数推移



相続関連業務取扱実績



ビジネスマッチングへの取組み

◆法人顧客のビジネス拡大を積極的に支援

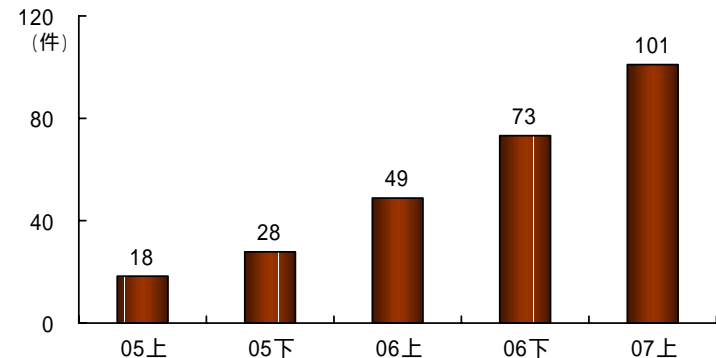
ビジネスマッチングへの取組み(本年度分)

開催時期	内容
2007/5	循環型食品リサイクルセミナー オンラインショッピングセミナー
2007/7	多摩の物産&輸入品商談会'07 第1回中国食品展示商談会 in 上海 第1回千葉大TLO技術移転特別フェア
2007/8	「千葉食材市場」活用セミナー
2007/9	3行合同ビジネスマッチング商談会
2007/10	「生産者直売のれん会」説明会 第21回東京ビジネス・サミット
2007/11	地方銀行 フードセレクション2007 ちば発産地物語 見本市・商談会 IT経営実践セミナー
2007/12 (予定)	中国ビジネスマッチング商談会 in 上海
2008/3 (予定)	FOODEX JAPAN 2008 全国食品博



- ✓地銀8行の推薦による出店企業208社(うち当行顧客参加36社)
- ✓食品バイヤーを中心に約7,000名来場し、成約多数

ビジネスマッチング成約件数推移



当行が主催および出展の取りまとめをしたもの

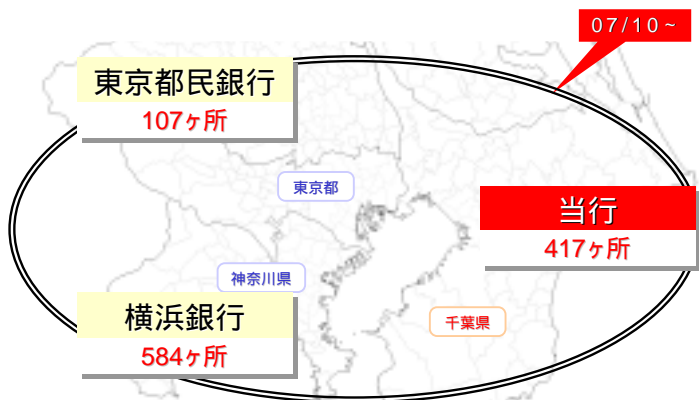
戦略的提携

◆企業価値の一層の向上に向け戦略的提携を加速

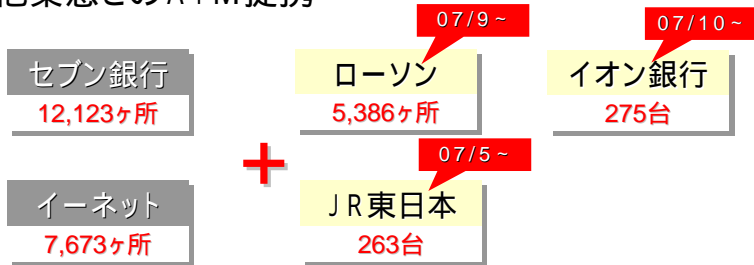
最近の主な提携実績

ATMネットワーク

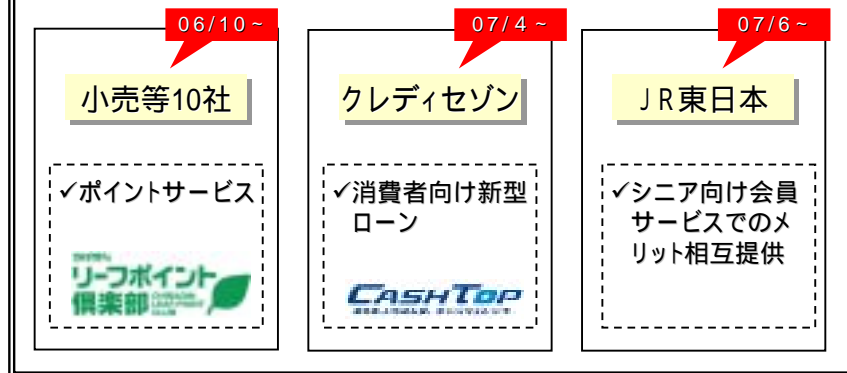
首都圏地銀とのATM提携(無料化等)



他業態とのATM提携

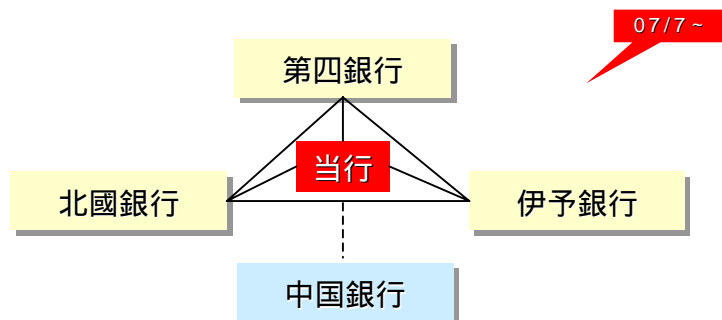


商品・サービス



システム

地銀他行とのシステム共同化・提携等検討開始



**経営管理態勢の強化・
地域社会発展への貢献に向けた取組み**

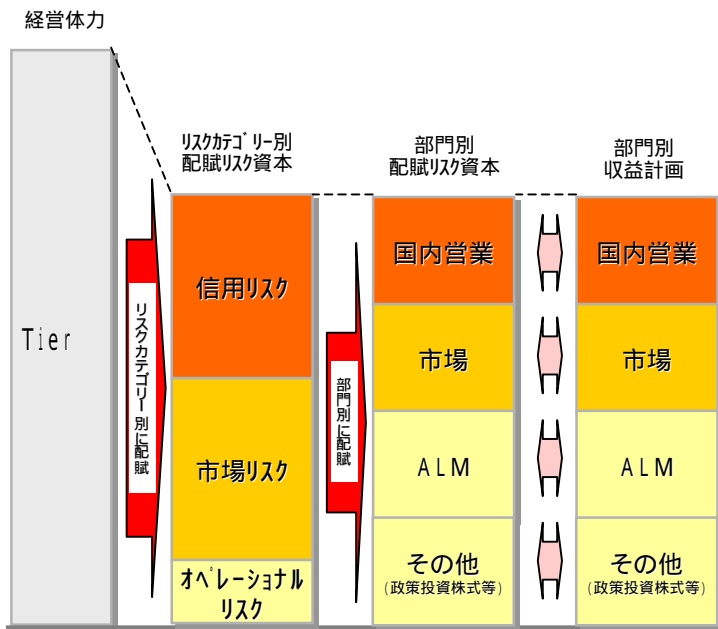
リスク管理態勢の強化

◆バーゼル 導入を機にリスク管理態勢を一層高度化

統合リスク管理の高度化

部門別リスク資本配賦制度(2003年度～)

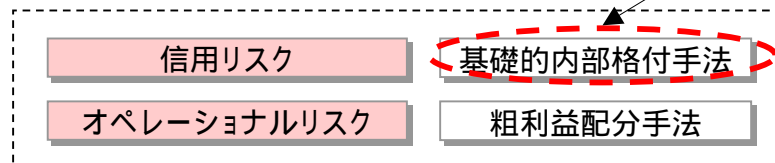
- ✓ 経営体力の範囲内でリスクカテゴリー別、部門別にリスク資本を配賦
- ✓ バーゼル 導入を機に管理手法の更なる精緻化について継続的に検討(デフォルト定義の変更等)



バーゼル への対応

バーゼル 導入(2007/3末～)

借り手のリスクを精緻に反映



アウトライヤー基準への対応(07/9末現在)

- ✓ 「銀行勘定の金利リスク量 < 自己資本の20%」を確認

銀行勘定における金利リスク		544億円
Tier + Tier		6,014億円
アウトライヤー比率	/	9.0%

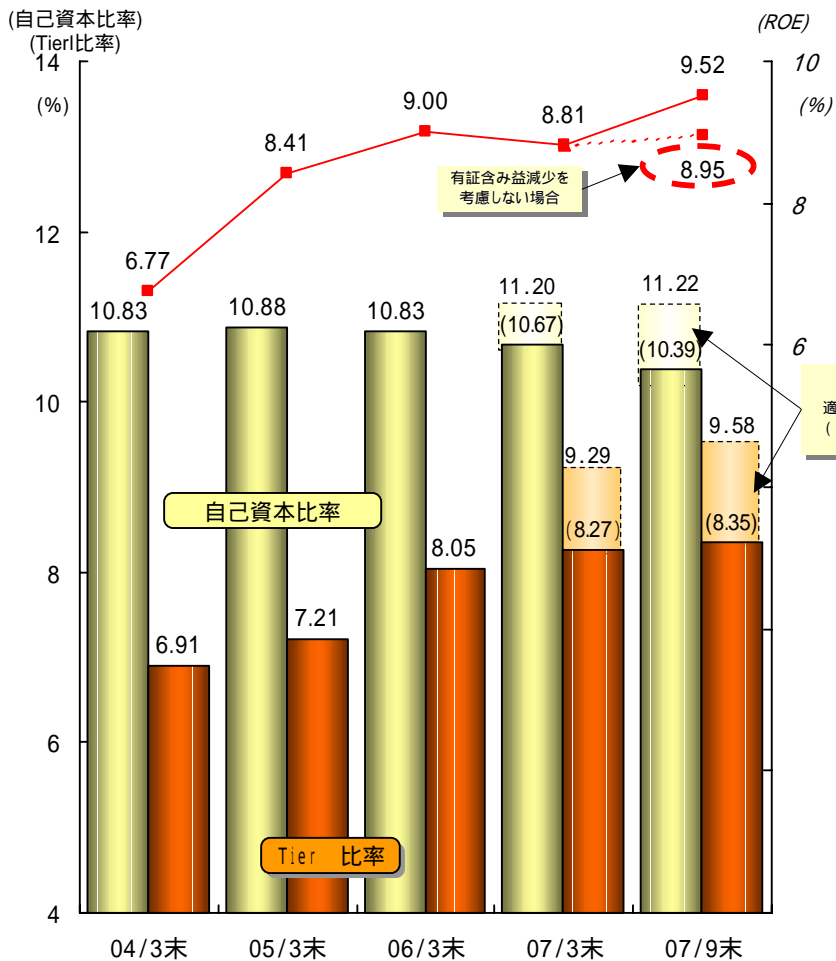
(前提条件)

- 金利ショック: 上下200bp平行移動
- コア預金の取扱を考慮

資本政策

◆高い収益性・健全性を維持しつつ、配当額の継続的な増加を目指す

自己資本比率・Tier 比率・ROE推移(単体ベース)



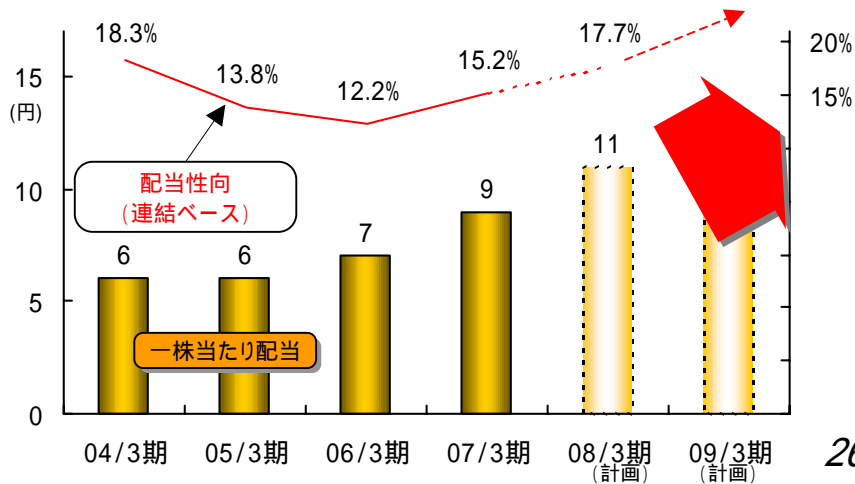
信用リスクストレステスト

(金融庁告示200条に基づく)

(億円)

	現状	ストレス時	増減
自己資本	5,803	5,583	220
リスクアセット	51,700	57,062	5,362
自己資本比率	11.22%	9.78%	1.44%
Tier 比率	9.58%	8.42%	1.16%

一株当たり配当・配当性向実績・計画



地域社会発展への貢献

◆地域社会発展への貢献のため各種取組を積極化

～大切にします、ひと、みず、みどり。～

福祉・教育活動：ひとを大切にしている活動



ちばぎんハートフル

水質保全活動：
みずを大切にしている活動



印旛沼美化活動

緑化活動：
みどりを大切にしている活動



「ちばぎんの森」育樹活動

CSR関連の取組み

環境定期預金

- ✓ CO₂削減キャンペーン賛同者に特別金利提供
- ✓ 預金残高の0.1%を環境保全団体へ寄付

•上限（100億円）2日で完売

08/3～

株主優待制度における千葉県特産品等の提供

